

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		クオリティ・オブ・ライフ船橋支援教室				公表日	2026年 4月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0%	100%	机や棚の配置などを工夫して、学習と活動のスペースを区分けしている。利用者様の療育時間帯をずらすなどして教室の中で利用者様の導線が被らないように工夫している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%	送迎場所の削減やルートの効率化など、送迎時間の短縮を図っている。保護者様にも自己入室や放課後ルーム等の利用を呼びかけ協力いただいている。	送迎などで職員が教室に複数人いない場合がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	1日のスケジュールや危険な箇所など視覚的にわかりやすい色や配置で情報を伝達するようにしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	支援後の清掃を欠かさずに行い、利用者様が使用した物品の消毒も行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	40%	60%	棚の配置等で区分けしている。必要に応じて車を個室として対応している。	個別の部屋となるスペースが存在しない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	各職員から療育や教室運営、保護者対応などについて意見を出し合い、職員全体で業務皆伝に取り組んでいる。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	年1のガイドラインアンケートや保護者会などで出た意見を集約し、業務改善に取り組んでいる。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎日のミーティングで、各職員が抱えている業務やその進捗を報告しあい、業務の分散を図っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60%	40%	教室の職員ではなく、教室外(本社)の方からも意見をもらい、業務改善に繋げている。	外部の評価を受ける機会が少ない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	法人内で行われる研修には必ず参加し、参加できなかった職員にも情報を共有できるようにしている。また、市から提供される情報についても積極的に収集している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムの作成を行い、HPにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	児童発達管理責任者のもと、計画期間に合わせて、保護者との面談を行い個別支援計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	策定会議を行い、全職員で個別支援計画に目を通し共通した認識を持つことが出来ている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	支援計画に基づき子どもの特性に合った支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	定期的なアセスメントや日常の行動観察によって、子どもの変化を捉えるよう努めている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	各項目について、児童発達支援管理責任者を中心に目標や支援内容を定めている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	各職員から活動内容について意見を出し合っている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	季節に合わせて様々な活動を取り入れられるように計画を立てている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別活動と集団活動の時間を決め、計画的に組み合わせ支援に反映している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	支援開始前に全職員でミーティングを実施し、当日の業務確認や前日までの情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%	必ずではないが、必要に応じて情報の共有を行っている。その日中に全職員に情報を共有できない場合には翌日の支援開始前の打ち合わせで情報を共有している。	支援終了後に打ち合わせを必ず実施することは時間的な制約があり難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	記録ツールを用いて必ず支援記録を残している。保護者様にも詳細に伝わるように留意している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的なモニタリングや保護者様からのヒヤリングを実施し、個別支援計画の修正を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	個別療育、自由活動、集団活動を組み合わせ支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	決められたルールの中でも子どもの意思を最大限尊重できるように支援を行っている。また、オープンな選択肢に対して対応することが難しい場合は、選択肢を設け自分で選べる力がつくように留意している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	相談支援員との連携を図り、情報の共有を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	衛生に関する研修や活動に関する相談などについて保健所と連絡を取り進めている。	これまで協力医療機関と定められた病院などと直接やり取りが発生する事態に至っていないため、有事の際に連携がうまくとれるかが課題である。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	送迎時間などについて適宜学校と連絡を取り、子どもの受け渡しについて円滑に進むよう心掛けている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0%	100%	就学前の情報については、保護者様からヒアリングシートなどで提供いただいている。必要に応じて相談支援員とも連携し情報を得ている。	現在までで保育園などと情報共有を図ったことはない。保護者様からだけでなく家族外から情報を得る機会があると良い。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	20%	80%	移行先から情報の提供を求められた際には、必要に応じて連携を図っていきたい。	福祉サービス事業所へ移行した例がまだないため、情報を提供する機会はない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	60%	40%	自治体や放課後協議会から情報提供される研修などには参加し、情報を得ている。	児童発達支援センターとの連携の前例はまだない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	時折、課外活動(公園遊び)などで他の児童との交流がある。	積極的に交流を図る機会を設けることは出来ない。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	放課後協議会へ参加し、地域の放課後等デイサービスの振興に取り組んでいる。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や連絡ツールにて適宜情報の共有を行っている。また、保護者様からいつでも相談できる環境を整えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	自治体からの研修などについて適宜情報提供を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に紙面と口頭で説明を行い、契約後もいつでも内容の確認を行えるよう、教室内に掲示している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者との面談や送迎時等に保護者様の意向を確認している。また、適宜子どものやりたいことや将来の進路に向けた話を聞く機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	送迎時に内容の確認を行い、同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	いつでも相談を受け付ける体制を整え、都度必要な助言などを行い、保護者様に対しても精神的な支えとなれるよう留意している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	保護者会を実施することで保護者同士の交流を図っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情の受付体制を整え、適切に対応できるよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	HPやSNSで月に1回以上活動内容などについて情報提供を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	児童の写真を含めた個人情報の取り扱いについて、十分留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	絵カードなどを用いて視覚的にも情報を提供できるように配慮を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	対外的な発信としてSNSやHPなどを更新し、積極的に地域に情報発信をしている。	地域住民向けのイベントなどを開催したことはない。交流については放デイに通っていることを知られたくない利用者様もいるため慎重に考えたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各マニュアルを作成し、災害時の対応などについて保護者様に紙面などで周知を行っている。また、定期的に訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPの作成・更新を行い、定期的に研修や訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時と年度更新時に保護者様に内容の確認をしていただき、子どもの状況把握に努めている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	食物アレルギーについて日ごろの活動や提供するおやつに留意し、エビベン所持児童についても保護者様から情報を提供していただいている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	毎月安全計画に沿った点検や研修を行い、安全管理に留意して支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	安全計画に基づく取り組み内容等について、保護者様へお知らせする機会を設けている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットについて記録、共有し事故防止に繋げられるよう取り組んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を中心に、定期的に研修を行い適切な対応を行えるように留意している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	契約時に身体拘束に関して説明を行い、保護者様にご理解・同意いただいている。		